

祝! 初優勝!! 若狭奈美子の表彰式



5月16日まで児島で開催された「ヴィーナスシリーズ 第2戦 第9回クラリスカップ」は、地元の若狭奈美子の嬉しい初優勝で幕を閉じた。

遠藤エミや小野生奈など強豪選手を押さえ、8戦6勝で予選トップ通過。準優勝戦～優勝戦を逃げ切り、13年7ヶ月、8度目の優出でついに頂点に立った。

水神祭では12人もの選手たちが一緒に飛び込み、まさに大団円。

ここでは涙をぬぐうシーンもあった若狭の表彰式での言葉を紹介しよう。

司会：初優勝おめでとうございます。

若狭奈美子：ありがとうございます。

司会：優勝の実感は？

若狭：まだはっきりとは沸いてないです。

司会：優勝戦1号艇、プレッシャーは？

若狭：準優のプレッシャーがすごかったですね。優勝戦でもプレッシャーは感じていました。

司会：優勝戦のスタートは14。

若狭：スタートだけに集中しようと思って、全速でした。

司会：1マークに向かうまでは？

若狭：伸び返して余裕もあったし、外の選手も気になりませんでした。

司会：1マークに関しては？

若狭：先に回ろうと。1マークを回ったところで優勝を確信しました。思うところはありましたね。(初優勝まで)遅かったんですけど、諦めなくてよかったです。後輩たちが優勝をしていく中で、追い付きたいという気持ちはありました。

司会：それは焦り？

若狭：そうですね。焦ってましたね。けど何年か前にちょっとしたきっかけがあって、そこからは自分のペースで一步步成長できたと思います。

司会：昨年末のクイーンズクライマックスシリーズでも優勝戦1号艇。あの時の経験が活かした？

若狭：そうですね。あの時もすごいプレッシャーで、いい経験をさせてもらったので、今日は絶対にリベンジし

ようと思っていました。

司会：66号機の仕上がりは？

若狭：本当にいいエンジンでしたね。優勝戦もバッチリ仕上がってました。持って帰りたいくらい(笑)。

司会：児島では山口達也選手、田中和也選手、そして若狭選手と97期が3節連続V。

若狭：同期の存在は刺激にもなるし、支えにもなります。

司会：今回優勝を意識したのはいつ頃？

若狭：最初から意識はしていたんですけど、3日目にかなりの仕上がりになったので、そこからは強く意識しましたね。

司会：今後の目標は？

若狭：近い目標はA 1級になること。遠い目標は年末の12人。やっとひとつの目標がクリアできました。これからまだまだ成長して行くので、応援よろしく願いします。